

# 4 授業の流れ

「秩父市・授業スタンダード」は基本的な授業の流れの例であり、教科や単元、題材の特性に応じて、様々な授業展開が考えられます。最低限、「課題・ねらい」の提示と「まとめ」は、毎時間行うよう心がけましょう。

## 秩父市・授業スタンダード

### 5 ステップ



〈授業展開の例〉

教師の視点

児童生徒の視点

### 1 つかむ

#### ○「課題」や「ねらい」の提示

- ・児童生徒が見通しと期待感を持てるようにする
- ・授業を通して、課題・ねらいを意識させる

・おもしろそうだな！  
・何ができるようになればいいのかな？  
・なぜなんだろう？

### 2 考える 取り組む

#### ○自力解決に向け、考え、取り組む

- ・課題解決の方法や手順を考えさせる
- ・課題解決に必要な知識・技能を習得させる

・どうやって取り組もう？  
・これまでの授業では…  
・〇〇がわかれば…  
・自分の力でやってみよう

### 3 広げる 深める

#### ○共有・協働で広げる、深める

- ・意見や考えの効果的な共有・深化をねらう
- ・すべての児童生徒に学びのある活動にする

・自分の意見を伝えよう！  
・そういう考えもあるのか～  
・最初はこう思ったけど…  
・もっといい方法があった！

### 4 確かめる

#### ○まとめ・成果の確認

- ・課題に正対した学習内容のまとめを行う
- ・児童生徒の発言・考えを効果的に活用する

・今日の授業でわかったことは…  
・なるほど！理解できた！  
・練習だ！確かめてみよう

### 5 振り返る

#### ○振り返り

- ・効果的な学び方や考え方を確認させる
- ・自分の学習状況を俯瞰的に捉えさせる
- ・既習事項や実生活との関連、今後の展望を持たせる

・〇〇が難しかったけど…  
・こう考えるとうまくいく！  
・次の授業では、さらに…

- ・「課題」「ねらい」はできるだけ疑問形にすると、「まとめ」と正対しやすい
- ・「知識・技能」の習熟を目的とする授業では、「広げる・深める」場面がない授業展開も考えられる
- ・「まとめ」は、教師が決めた内容を児童生徒に書き写させるのではなく、まずは児童生徒が自分の言葉で学習内容をまとめ、学級全体のやり取りや発表により、各自の過不足や誤りを修正することで効果的に実施できる
- ・「振り返り」は、単元計画の中で軽重をつけ、意図的・計画的に時間をとり、工夫して実施する